

耐 震 診 断 書

【耐震診断法の適用範囲について】

- ・本ソフトは、3階建てまでの在来軸組構法、伝統的構法、桝組壁工法の木造住宅、立面的な混構造（1階部分が鉄骨造または鉄筋コンクリート造）の建物の木造部分を想定して作成されています。
- ※耐震診断法は、比較的矩形な総2・3階建てを想定して作成されています。そのため、2階が二つに分かれている建物や、平面形状がコの字型など、著しく不整形な建物について、本プログラムで診断することは不適切です。

※下記の建物は適用範囲外です。

丸太組構法、旧38条認定および型式適合認定によるプレハブ工法住宅、平面的な混構造、スキップフロア
学校校舎、体育館、幼稚園舎などの大規模木造建築物

【本ソフトの適用範囲について】

- ・本ソフトでの耐震診断は、階高3.4m程度までの建物について適用して下さい。

【結果を読むに当たっての注意事項】

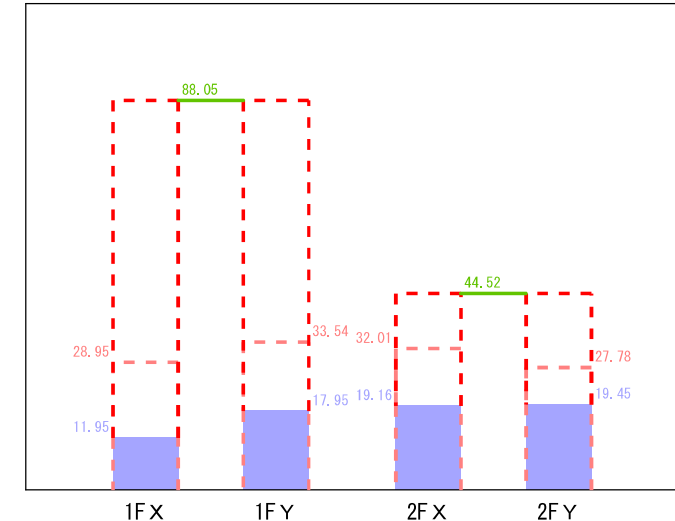
- ・本診断書における在来軸組構法・桝組壁工法診断時の「その他の耐震要素の耐力 Q_e 」は、有開口壁長より算出しています。

株式会社OSCAR J. J
富山市掛尾栄町1番地の1

総合評価

あなたの家の強さ（保有・必要耐力）

単位：k N
Qu 必要耐力



総合評価

上部構造評価のうち最低の値	評価点	判定
0.13	1.5以上	◎ 倒壊しない
	1.0以上～1.5未満	○ 一応倒壊しない
	0.7以上～1.0未満	△ 倒壊する可能性がある
	0.7未満	× 倒壊する可能性が高い
無積雪時の評価点	0.19	>
積雪時の評価点	0.13	

◆建物概要

建物名称		建物階数	2
建築地		診断の方法	方法 1
備考		低減係数 E	偏心率
構法	在来軸組構法	軟弱地盤割増係数	1.0
1 階構造種別	木造	竣工年月	1986年12月(昭和61年)
外壁材種	仕上げなし	築年数	築10年以上
基礎仕様	鉄筋コンクリート	建物重量	重い
柱頭柱脚接合部	Ⅲ,Ⅳほぞ差し、釘打ち、かすがい等	混構造割増係数	1.0
下屋部低減係数	平屋建てもしくは最上階として計算する	積雪	1.5
必要耐力計算表	精算法(各階の床面積比を考慮した方法)	地域係数 Z	1.0
床仕様	Ⅲ 火打ちなし(想定床倍率0.5未満)	形状割増	2階 6m以上
床面積	2階 46.38㎡ (14.02坪)	短辺の長さ	1階 4m以上6m未満
	1階 82.39㎡ (24.92坪)		

■上部構造の評価

階	方向	壁・柱の耐力 Qu (kN)	配置 eKfl	劣化度 dK	保有耐力 (kN) edQu=Qu・eKfl・dK	必要耐力 Qr (kN)	評価点 edQu/Qr	判定
2F	X	32.01	0.8553	0.7000	19.16	44.52	0.43	倒壊する可能性が高い ×
	Y	27.78	1.0000	0.7000	19.45	44.52	0.43	倒壊する可能性が高い ×
1F	X	28.95	0.5898	0.7000	11.95	88.05	0.13	倒壊する可能性が高い ×
	Y	33.54	0.7645	0.7000	17.95	88.05	0.20	倒壊する可能性が高い ×

注意事項：地盤・基礎

地盤・地形・基礎	対策	注意事項
地盤：よい・普通		特に問題はありません。
地形：平坦		特に問題はありません。
基礎：鉄筋コンクリート	ひび割れが生じている	ひび割れが発生している場合、内部の鉄筋が錆びて、コンクリートを壊す可能性があります。

株式会社 OSCAR J. J

様邸

診断書作成日時

物件コード：0001

現状

0.13

本書は、一般財団法人 日本建築防災協会発行の「2012年改訂版 木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。
本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。

地盤・基礎

地盤	対策	記入欄	注意事項
よい/普通		○	特に問題はありません。
悪い			
非常に悪い (埋立地、盛り土、軟弱地盤)	表層の地盤改良を行っている		
	杭基礎である		
	特別な対策を行っていない		

地形	対策	記入欄	注意事項
平坦・普通		○	特に問題はありません。
がけ地・急 斜面	コンクリート擁壁		
	石積		
	特別な対策を行っていない		

基礎形式		記入欄	注意事項
鉄筋コンクリート基礎	健全	○	▪ ひび割れが発生している場合、内部の鉄筋が錆びて、コンクリートを壊す可能性があります。 補修が必要です。
	ひび割れが生じている		
無筋コンクリート基礎	健全		
	軽微なひび割れが生じている		
	ひび割れが生じている		
玉石基礎	足固め・底盤		
	足固めなし		
その他 (ブロック基礎等)			

株式会社OSCAR J. J

様邸

診断書作成日時

物件コード：0001

現状

0.13

本書は、一般財団法人 日本建築防災協会発行の「2012年改訂版 木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。
本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。

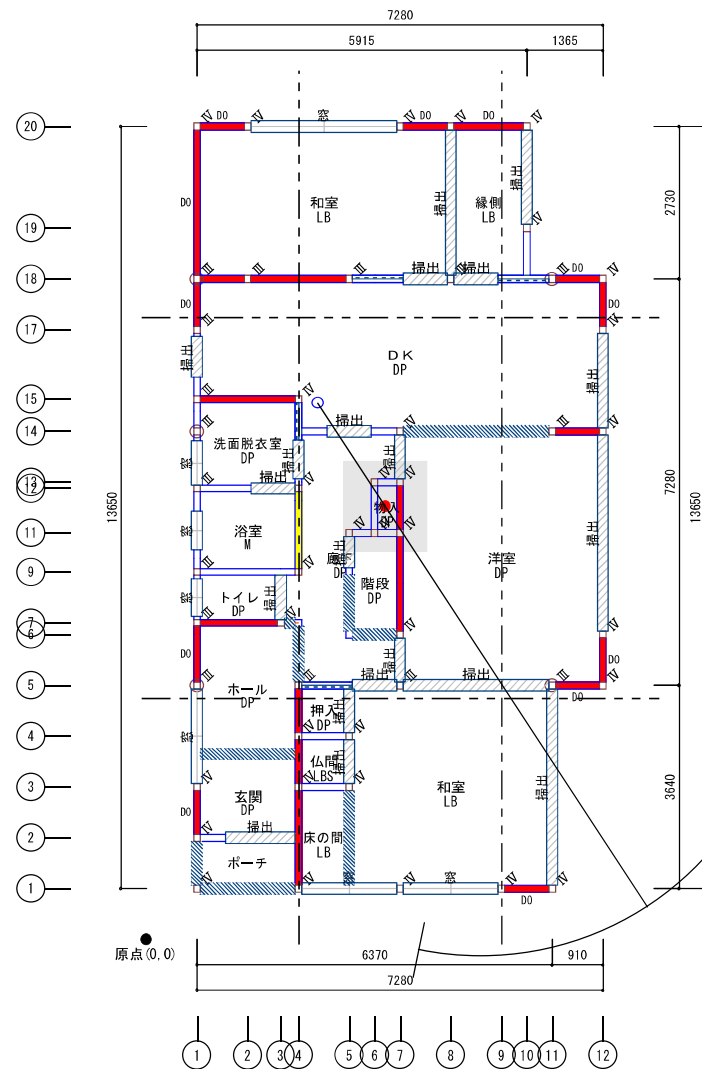
1 階平面図

Y

凡例

LBS: 【診断専用】 ラスボード下地しつくい塗り [1.3kN/m]
M: 木ずり下地モルタル塗り [2.2kN/m]
LB: 【診断専用】 ラスボード [1kN/m]
DO: 【診断専用】 胴縁-窯業系サイディング張り [1.3kN/m]
DP: 【診断専用】 胴縁-合板 (厚3以上) [0.9kN/m]

X



壁基準耐力 (kN/m)

赤 3.0未満
黄 3.0~5.0未満
青 5.0~7.0未満
黒 7.0~

株式会社OSCAR J. J

様邸

診断書作成日時:

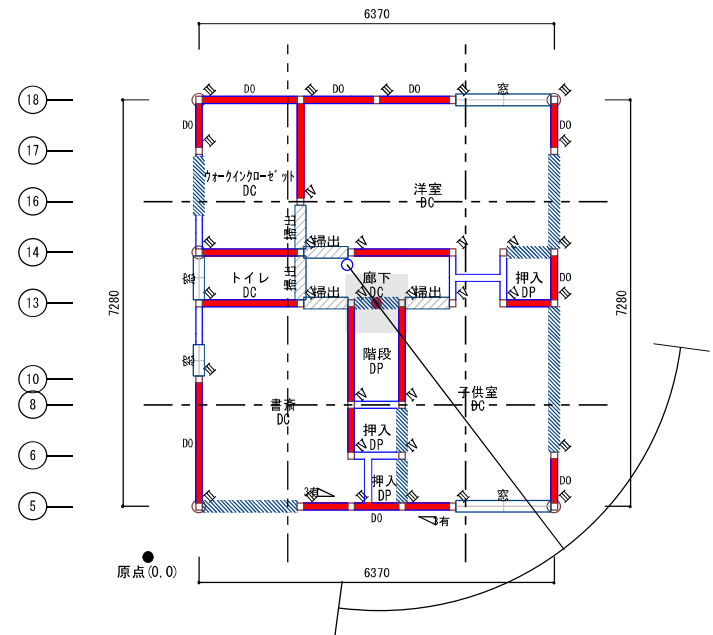
物件コード: 0001

現状

0.13

本書は、一般財団法人 日本建築防災協会発行の「2012年改訂版 木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。
本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。

2 階平面図



Y

凡例

- DO: 【診断専用】 胴縁-窯業系サイディング張り [1.3kN/m]
DP: 【診断専用】 胴縁-合板 (厚3以上) [0.9kN/m]
DC: 胴縁-石膏ボード張り (厚9以上) [1.1kN/m]
3有: 筋かい木材30X90以上 BPまたは同等品 [2.4kN/m]

X

壁基準耐力 (kN/m)

- 赤 3.0未満
黄 3.0~5.0未満
青 5.0~7.0未満
黒 7.0~

株式会社OSCAR J. J

様邸

診断書作成日時:

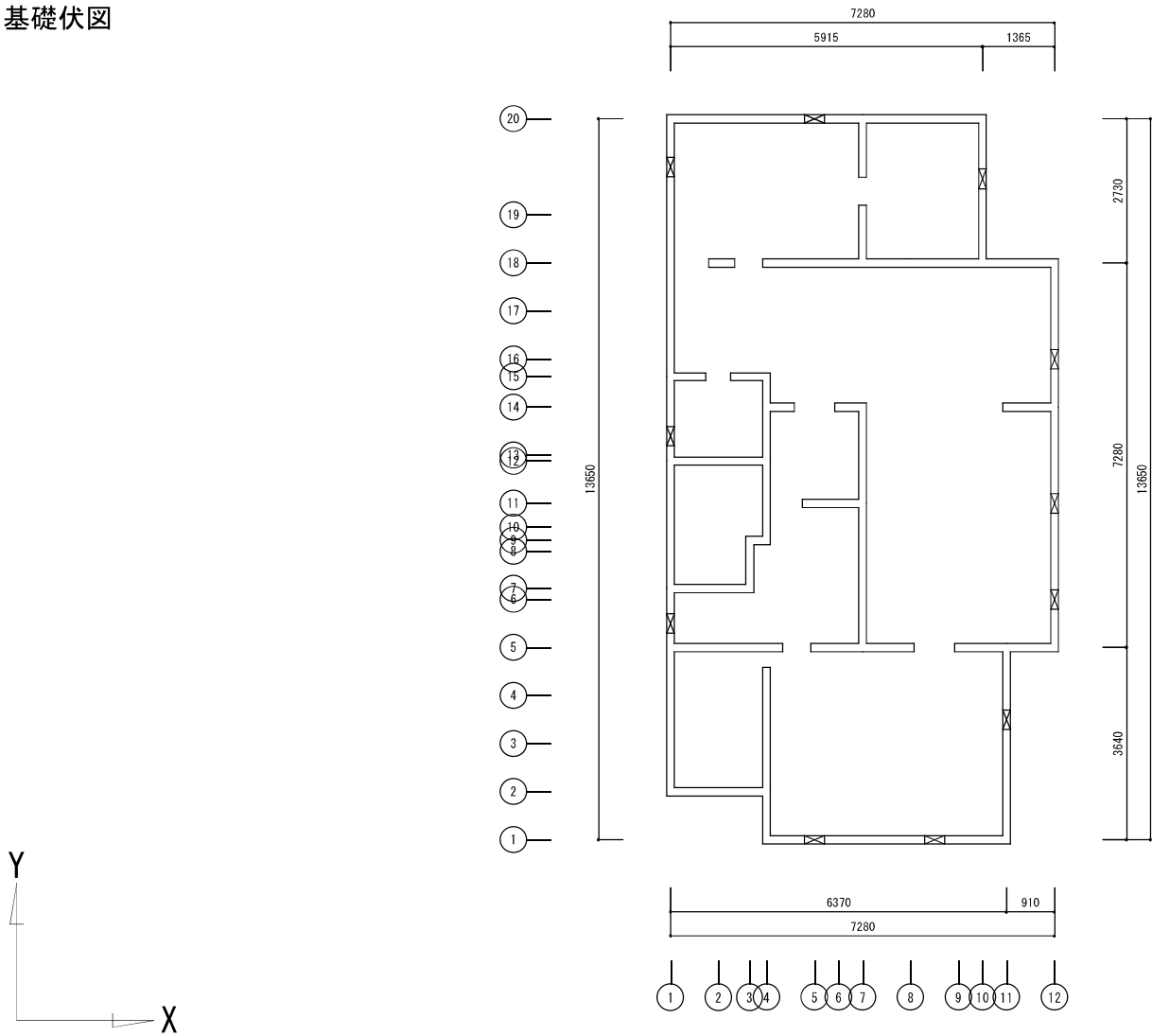
物件コード: 0001

現状

0.13

本書は、一般財団法人 日本建築防災協会発行の「2012年改訂版 木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。
本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。

基礎伏図



株式会社OSCAR J. J

様邸

診断書作成日時:

物件コード: 0001

現状

0.13

本書は、一般財団法人 日本建築防災協会発行の「2012年改訂版 木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。
本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。

必要耐力の算出 [重い建物]

	床面積 (㎡)		床面積あたり 必要耐力 (kN/㎡)		積雪用 必要耐力 (kN/㎡)		地域係数 Z		軟弱地盤 割増係数		形状 割増係数		混構造 割増係数		必要耐力 Q _r (kN)
2 階	46.38	×	0.5698	+	0.3900	) ×	1.0	×	1.0	×	1.00	×	1.0	=	44.52
1 階	82.39		0.6787		0.3900						1.00				88.05

床面積当たりの必要耐力算出根拠

Rf1=2 階床面積/ 1 階床面積=0.5629

QKf12=1.3+0.07/Rf1=1.4244

QKf11=0.4+0.6*Rf1=0.7377

2 階建の 2 階=0.40*QKf12=0.5698

2 階建の 1 階=0.92*QKf11=0.6787

株式会社OSCAR J. J

様邸

診断書作成日時:

物件コード: 0001

現状

0.13

本書は、一般財団法人 日本建築防災協会発行の「2012年改訂版 木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。
本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。

壁・柱の耐力 Q_u (2階X方向)

位置	Y	X	記号	壁の仕様	仕様別 基準耐力	壁基準耐力 Fw (kN/m)		接合部 耐力低減 Kj		壁長 L (m)		Qwi	Qw =Σ Qwi	Qei	Qe =Σ Qei	Qu Qw+Qe	
桁行 (a)	18	1- 4	D0 DC	【診断専用】胴縁-窯業系サイディング張り 胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	1.30 1.10	2.40	x	① 0.9200	x	1.8200	=	4.01	10.03		1.09	1.09	11.12
	18	4- 6	D0 DC	【診断専用】胴縁-窯業系サイディング張り 胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	1.30 1.10	2.40	x	① 0.9200	x	1.3650	=	3.01					
	18	6- 8	D0 DC	【診断専用】胴縁-窯業系サイディング張り 胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	1.30 1.10	2.40	x	① 0.9200	x	1.3650	=	3.01					
	18	8-11		窓型開口		0.60	x		x	1.8200	=						
桁行 (中央)	13	1- 4	DC	胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	1.10	2.20	x	① 0.9600	x	1.8200	=	3.84	13.34				13.88
			DC	胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	1.10		x	① 1.0000	x	0.9100	=	1.82					
	13	9-11	DP DC	【診断専用】胴縁-合板(厚3以上) 胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	0.90 1.10	2.00	x	① 1.0000	x	0.9100	=	1.82					
	14	1- 4	DC	胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	1.10	2.20	x	① 0.9600	x	1.8200	=	3.84					
			DC	胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	1.10		x	① 0.9600	x	1.8200	=	3.84					
	14	5- 8	DC	胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	1.10	2.20	x	① 0.9600	x	1.8200	=	3.84					
		DC	胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	1.10	x		① 0.9600	x	1.8200	=	3.84						
	13	4- 5		掃き出し型開口		0.30	x		x	0.9100	=			0.27	0.54		
	14	4- 5		掃き出し型開口		0.30	x		x	0.9100	=			0.27			
桁行 (b)	5	4- 5	3有	筋かい木材30X90以上 BPまたは同等品	2.40	2.40	x	① 0.9200	x	0.9100	=	2.00	5.92				7.01
	5	5- 7	D0 DP	【診断専用】胴縁-窯業系サイディング張り 【診断専用】胴縁-合板(厚3以上)	1.30 0.90	2.20	x	① 0.9600	x	0.9100	=	1.92					
	5	7- 8	3有	筋かい木材30X90以上 BPまたは同等品	2.40	2.40	x	① 0.9200	x	0.9100	=	2.00					
	5	8-11		窓型開口		0.60	x		x	1.8200	=						
合計												29.29			2.72	32.01	

株式会社OSCAR J. J

様邸

診断書作成日時:

物件コード: 0001

現状

0.13

本書は、一般財団法人 日本建築防災協会発行の「2012年改訂版 木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。
本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。

壁・柱の耐力 Q_u (2階Y方向)

位置	X	Y	記号	壁の仕様	仕様別 基準耐力	壁基準耐力 F_w (kN/m)		接合部 耐力低減 K_j		壁長 L (m)		Q_{wi}	Q_w $= \sum Q_{wi}$	Q_{ei}	Q_e $= \sum Q_{ei}$	Q_u $Q_w + Q_e$
梁間 (イ)	1	5-10	DC	胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	1.10											
			DO	【診断専用】 胴縁-窯業系サイディング張り	1.30	2.40	×	① 0.9200	×	2.2750	=	5.02				
	1	17-18	DC	胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	1.10											
			DO	【診断専用】 胴縁-窯業系サイディング張り	1.30	2.40	×	① 0.9200	×	0.9100	=	2.00	7.02			
	1	10-14		窓型開口		0.60	×		×	2.2750	=			1.36	1.36	8.38
梁間 (中央)	4	16-18	DC	胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	1.10											
			DC	胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	1.10	2.20	×	① 0.9600	×	1.8200	=	3.84				
	5	6- 8	DP	【診断専用】 胴縁-合板(厚3以上)	0.90											
			DC	胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	1.10	2.00	×	① 1.0000	×	0.9100	=	1.82				
	5	8-13	DP	【診断専用】 胴縁-合板(厚3以上)	0.90											
			DC	胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	1.10	2.00	×	① 1.0000	×	1.8200	=	3.64				
	7	8-13	DP	【診断専用】 胴縁-合板(厚3以上)	0.90											
			DC	胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	1.10	2.00	×	① 1.0000	×	1.8200	=	3.64	12.94			
	4	13-16		掃き出し型開口		0.30	×		×	1.8200	=			0.54	0.54	13.48
梁間 (ロ)	11	5- 6	DC	胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	1.10											
			DO	【診断専用】 胴縁-窯業系サイディング張り	1.30	2.40	×	① 0.9200	×	0.9100	=	2.00				
	11	13-14	DP	【診断専用】 胴縁-合板(厚3以上)	0.90											
			DO	【診断専用】 胴縁-窯業系サイディング張り	1.30	2.20	×	① 0.9600	×	0.9100	=	1.92				
	11	17-18	DC	胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	1.10											
			DO	【診断専用】 胴縁-窯業系サイディング張り	1.30	2.40	×	① 0.9200	×	0.9100	=	2.00	5.92		0.00	5.92
合計													25.88		1.90	27.78

株式会社OSCAR J. J

様邸

診断書作成日時:

物件コード: 0001

現状

0.13

本書は、一般財団法人 日本建築防災協会発行の「2012年改訂版 木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。
本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。

壁・柱の耐力 Q_u (1階X方向)

位置	Y	X	記号	壁の仕様	仕様別 基準耐力	壁基準耐力 F_w (kN/m)		接合部 耐力低減 K_j		壁長 L (m)		Q_{wi}	Q_w $= \sum Q_{wi}$	Q_{ei}	Q_e $= \sum Q_{ei}$	Q_u $Q_w + Q_e$
桁行 (a)	18	1-2	LB	【診断専用】ラスボード	1.00											
			DP	【診断専用】胴縁-合板(厚3以上)	0.90	1.90	x	② 1.0000	x	0.9100	=	1.72				
	18	2-5	LB	【診断専用】ラスボード	1.00											
			DP	【診断専用】胴縁-合板(厚3以上)	0.90	1.90	x	② 1.0000	x	1.8200	=	3.45				
	18	11-12	D0	【診断専用】胴縁-窯業系サイディング張り	1.30											
			DP	【診断専用】胴縁-合板(厚3以上)	0.90	2.20	x	③ 0.9600	x	0.9100	=	1.92				
	20	1-2	D0	【診断専用】胴縁-窯業系サイディング張り	1.30											
桁行 (中央)			LB	【診断専用】ラスボード	1.00	2.30	x	③ 0.9400	x	0.9100	=	1.96				
	20	7-8	D0	【診断専用】胴縁-窯業系サイディング張り	1.30											
			LB	【診断専用】ラスボード	1.00	2.30	x	③ 0.9400	x	0.9100	=	1.96				
	20	8-10	D0	【診断専用】胴縁-窯業系サイディング張り	1.30											
			LB	【診断専用】ラスボード	1.00	2.30	x	③ 0.9400	x	1.3650	=	2.95	13.96			
	20	2-7		窓型開口		0.60	x		x	2.7300	=			1.63	1.63	15.59
桁行 (中央)	5	11-12	DP	【診断専用】胴縁-合板(厚3以上)	0.90											
			D0	【診断専用】胴縁-窯業系サイディング張り	1.30	2.20	x	③ 0.9600	x	0.9100	=	1.92				
	7	1-3	DP	【診断専用】胴縁-合板(厚3以上)	0.90											
			DP	【診断専用】胴縁-合板(厚3以上)	0.90	1.80	x	② 1.0000	x	1.5000	=	2.70				
	14	11-12	DP	【診断専用】胴縁-合板(厚3以上)	0.90	0.90	x	③ 1.0000	x	0.9100	=	0.81				
	15	1-4	DP	【診断専用】胴縁-合板(厚3以上)	0.90											
桁行 (b)			DP	【診断専用】胴縁-合板(厚3以上)	0.90	1.80	x	② 1.0000	x	1.8200	=	3.27	8.70			
	5	4-11		掃き出し型開口		0.30	x		x	3.0000	=			0.90	0.90	9.60
	1	9-11	D0	【診断専用】胴縁-窯業系サイディング張り	1.30											
			LB	【診断専用】ラスボード	1.00	2.30	x	③ 0.9400	x	0.9100	=	1.96	1.96			
	1	4-9		窓型開口		0.60	x		x	3.0000	=			1.80	1.80	3.76
合計													24.62		4.33	28.95

株式会社OSCAR J. J

様邸

診断書作成日時:

物件コード: 0001

現状

0.13

本書は、一般財団法人 日本建築防災協会発行の「2012年改訂版 木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。
本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。

壁・柱の耐力 Q_u (1階Y方向)

位置	X	Y	記号	壁の仕様	仕様別 基準耐力	壁基準耐力 F_w (kN/m)		接合部 耐力低減 K_j		壁長 L (m)		Q_{wi}	Q_w $= \sum Q_{wi}$	Q_{ei}	Q_e $= \sum Q_{ei}$	Q_u $Q_w + Q_e$
梁間 (イ)	1	2-3	DO	【診断専用】 胴縁-窯業系サイディング張り	1.30											
			DP	【診断専用】 胴縁-合板(厚3以上)	0.90	2.20	x	③ 0.9600	x	0.9100	=	1.92				
	1	5-7	DP	【診断専用】 胴縁-合板(厚3以上)	0.90											
			DO	【診断専用】 胴縁-窯業系サイディング張り	1.30	2.20	x	② 1.0000	x	1.1200	=	2.46				
	1	17-18	DO	【診断専用】 胴縁-窯業系サイディング張り	1.30											
			DP	【診断専用】 胴縁-合板(厚3以上)	0.90	2.20	x	② 1.0000	x	0.9100	=	2.00				
	1	18-20	DO	【診断専用】 胴縁-窯業系サイディング張り	1.30											
			LB	【診断専用】 ラスボード	1.00	2.30	x	③ 0.9400	x	2.7300	=	5.90				
	4	1-3	LB	【診断専用】 ラスボード	1.00	1.00	x	③ 1.0000	x	1.8200	=	1.82				
	4	3-4	LBS	【診断専用】 ラスボード下地しっくい塗り	1.30											
梁間 (中央)			DP	【診断専用】 胴縁-合板(厚3以上)	0.90	2.20	x	③ 0.9600	x	0.9100	=	1.92				
	4	4-5	DP	【診断専用】 胴縁-合板(厚3以上)	0.90	1.80	x	③ 1.0000	x	0.9100	=	1.63				
			DP	【診断専用】 胴縁-合板(厚3以上)	0.90											
	4	9-12	DP	【診断専用】 胴縁-合板(厚3以上)	0.90											
			M	木ずり下地モルタル塗り	2.20	3.10	x	② 0.9950	x	1.5000	=	4.62	22.27			
	1	3-5		窓型開口		0.60	x		x	1.8200	=			1.09	1.09	23.36
	7	6-11	DP	【診断専用】 胴縁-合板(厚3以上)	0.90											
			DP	【診断専用】 胴縁-合板(厚3以上)	0.90	1.80	x	② 1.0000	x	1.8200	=	3.27				
	7	11-13	DP	【診断専用】 胴縁-合板(厚3以上)	0.90											
			DP	【診断専用】 胴縁-合板(厚3以上)	0.90	1.80	x	② 1.0000	x	0.9100	=	1.63	4.90			
梁間 (口)	7	5-6		掃き出し型開口		0.30	x		x	0.9100	=			0.27		
	7	13-14		掃き出し型開口		0.30	x		x	0.9100	=			0.27	0.54	5.44
	12	5-6	DO	【診断専用】 胴縁-窯業系サイディング張り	1.30											
			DP	【診断専用】 胴縁-合板(厚3以上)	0.90	2.20	x	③ 0.9600	x	0.9100	=	1.92				
	12	17-18	DO	【診断専用】 胴縁-窯業系サイディング張り	1.30											
合計			DP	【診断専用】 胴縁-合板(厚3以上)	0.90	2.20	x	③ 0.9600	x	0.9100	=	1.92	3.84			
	12	6-17		掃き出し型開口		0.30	x		x	3.0000	=			0.90	0.90	4.74
													31.01		2.53	33.54

株式会社OSCAR J. J

様邸

診断書作成日時:

物件コード: 0001

現状

0.13

本書は、一般財団法人 日本建築防災協会発行の「2012年改訂版 木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。
本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。

耐力要素の配置等による低減係数 $e K f I$

偏心率

		偏心率	配置による低減係数
2 F	X方向	0.20	0.8553
	Y方向	0.14	1.0000
1 F	X方向	0.34	0.5898
	Y方向	0.24	0.7645

		2 階		1 階	
		X方向の壁	Y方向の壁	X方向の壁	Y方向の壁
剛心座標	y_s, x_s	5.24	3.57	9.61	3.07
重心座標	y_g, x_g	4.55	4.10	7.76	4.29
偏心距離	e_y, e_x	0.69	0.53	1.85	1.22
弾力半径	$r_{e \cdot x}, r_{e \cdot y}$	3.44	3.69	5.39	5.01
偏心率	$R_{e \cdot x}, R_{e \cdot y}$	0.20	0.14	0.34	0.24

2階床面積の計算

ブロックNo.	左下X (m)	左下Y (m)	右上X (m)	右上Y (m)	ブロック面積 (A_i) (m^2)	床面積当たりの重量 (W_i) (kN/m^2)	面積X単位重量 ($A_i \cdot W_i$) (kN)	$A_i \cdot X_i$ ($kN \cdot m$)	$A_i \cdot X_i \cdot W_i$	$A_i \cdot Y_i$ ($kN \cdot m$)	$A_i \cdot Y_i \cdot W_i$
1	0.91	0.91	7.28	8.19	46.37	2.00	92.74	189.89	379.78	210.98	421.96
合計					46.37		92.74	189.89	379.78	210.98	421.96

1階床面積の計算

ブロックNo.	左下X (m)	左下Y (m)	右上X (m)	右上Y (m)	ブロック面積 (A_i) (m^2)	床面積当たりの重量 (W_i) (kN/m^2)	面積X単位重量 ($A_i \cdot W_i$) (kN)	$A_i \cdot X_i$ ($kN \cdot m$)	$A_i \cdot X_i \cdot W_i$	$A_i \cdot Y_i$ ($kN \cdot m$)	$A_i \cdot Y_i \cdot W_i$
1	0.91	0.91	6.83	4.55	21.55	2.00	43.10	83.40	166.80	58.83	117.66
2	0.91	4.55	6.83	11.83	43.10	2.60	112.06	166.80	433.68	352.99	917.77
3	0.91	11.83	6.83	14.56	16.16	2.00	32.32	62.54	125.08	213.23	426.46
4	6.83	4.55	7.28	11.83	3.28	2.60	8.53	23.14	60.16	26.86	69.84
5	7.28	4.55	8.19	11.83	6.62	2.00	13.24	51.21	102.42	54.22	108.44
6	6.83	0.91	7.28	4.55	1.64	2.00	3.28	11.57	23.14	4.48	8.96
合計					92.35		212.53	398.66	911.28	710.61	1649.13

株式会社OSCAR J. J

様邸

診断書作成日時:

物件コード: 0001

現状

0.13

本書は、一般財団法人 日本建築防災協会発行の「2012年改訂版 木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。
本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。

重心位置の計算

階	床面積 (m ²)	$\Sigma A_i \cdot x_i$	$\Sigma W \cdot x$	ΣW (kN)	重心座標 x_g (m)	$\Sigma A_i \cdot y_i$	$\Sigma W \cdot y$	ΣW (kN)	重心座標 y_g (m)
2	46.37	189.89	379.78	92.74	4.10	210.98	421.96	92.74	4.55
1	92.35	398.66	911.28	212.53	4.29	710.61	1649.13	212.53	7.76

2階X方向壁

	Y座標 (m)	l_x	$l_x \cdot y$	$l_x X$ $(y-y_s)^2$
1	8.19	4.02	32.92	34.95
2	8.19	3.01	24.65	26.17
3	8.19	3.01	24.65	26.17
4	8.19	1.09	8.93	9.48
5	5.46	3.84	20.97	0.18
6	5.46	0.27	1.47	0.01
7	5.46	3.84	20.97	0.18
8	4.55	1.82	8.28	0.87
9	4.55	0.27	1.23	0.13
10	4.55	3.84	17.47	1.84
11	0.91	2.01	1.83	37.71
12	0.91	1.92	1.75	36.02
13	0.91	1.09	0.99	20.45
14	0.91	2.01	1.83	37.71
合計	66.43	32.04	167.94	231.87

2階Y方向壁

	X座標 (m)	l_y	$l_y \cdot x$	$l_y X$ $(x-x_s)^2$
1	7.28	2.01	14.63	27.69
2	7.28	1.92	13.98	26.45
3	7.28	2.01	14.63	27.69
4	4.55	3.64	16.56	3.51
5	3.64	3.64	13.25	0.02
6	3.64	1.82	6.62	0.01
7	2.73	3.84	10.48	2.70
8	2.73	0.55	1.50	0.39

株式会社OSCAR J. J

様邸

診断書作成日時:

物件コード: 0001

現状

0.13

本書は、一般財団法人 日本建築防災協会発行の「2012年改訂版 木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。
本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。

2階Y方向壁

	X座標 (m)	ly	ly・x	lyX (x-xs) ²
9	0.91	5.02	4.57	35.47
10	0.91	1.37	1.25	9.68
11	0.91	2.01	1.83	14.20
合計	41.86	27.83	99.30	147.81

1階X方向壁

	Y座標 (m)	lx	lx・y	lxX (y-ys) ²
1	14.56	1.97	28.68	48.19
2	14.56	1.97	28.68	48.19
3	14.56	2.95	42.95	72.17
4	14.56	1.64	23.88	40.12
5	11.83	3.46	40.93	16.99
6	11.83	1.92	22.71	9.43
7	11.83	1.73	20.47	8.50
8	9.68	3.28	31.75	0.01
9	9.10	0.82	7.46	0.22
10	5.67	2.70	15.31	42.00
11	4.55	0.90	4.10	23.08
12	4.55	1.92	8.74	49.23
13	0.91	1.80	1.64	136.36
14	0.91	1.97	1.79	149.24
合計	129.10	29.03	279.09	643.74

1階Y方向壁

	X座標 (m)	ly	ly・x	lyX (x-xs) ²
1	8.19	1.92	15.72	50.30
2	8.19	1.92	15.72	50.30
3	8.19	0.90	7.37	23.58
4	4.55	1.64	7.46	3.58
5	4.55	0.27	1.23	0.59
6	4.55	0.27	1.23	0.59
7	4.55	3.28	14.92	7.17

株式会社OSCAR J. J

様邸

診断書作成日時:

物件コード: 0001

現状

0.13

本書は、一般財団法人 日本建築防災協会発行の「2012年改訂版 木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。
本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。

1階Y方向壁

	X座標 (m)	ly	ly・x	lyX (x-x _s) ²
8	2.73	1.92	5.24	0.22
9	2.73	1.82	4.97	0.21
10	2.73	1.64	4.48	0.19
11	2.73	4.63	12.64	0.54
12	0.91	5.90	5.37	27.57
13	0.91	1.09	0.99	5.09
14	0.91	1.92	1.75	8.97
15	0.91	2.00	1.82	9.35
16	0.91	2.46	2.24	11.50
合計	58.24	33.58	103.15	199.75

株式会社OSCAR J. J

様邸

診断書作成日時:

物件コード: 0001

現状

0.13

本書は、一般財団法人 日本建築防災協会発行の「2012年改訂版 木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。
本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。

劣化度による低減係数 d K

部位		材料、部材等	劣化事象	存在点数		劣化 点数
				10年未満	10年以上	
屋根	葺き材	金属板	変退色、さび、さび穴、ずれ、めくれがある	2	②	②
		瓦・スレート	割れ、欠け、ずれ、欠落がある			
樋		樋・呼び樋	変退色、さび、割れ、ずれ、欠落がある	2	②	②
		縦樋	変退色、さび、割れ、ずれ、欠落がある	2	②	②
外壁 仕上げ		木製板、合板	水浸み痕、こけ、割れ、抜け節、ずれ、腐朽がある	4	④	④
		窯業系サイディング	こけ、割れ、ずれ、欠落、シール切れがある			
		金属サイディング	変退色、さび、さび穴、ずれ、めくれ、目地空き、シール切れがある			
		モルタル	こけ、0.3mm以上の亀裂、剥落がある			
		露出した躯体	水浸み痕、こけ、腐朽、蟻道、蟻害がある	2	②	②
バルコニー	手すり壁	木製板、合板	水浸み痕、こけ、割れ、抜け節、ずれ、腐朽がある	1	1	1
		窯業系サイディング	こけ、割れ、ずれ、欠落、シール切れがある			
		金属サイディング	変退色、さび、さび穴、ずれ、めくれ、目地空き、シール切れがある	1	1	1
		外壁との接合部	外壁面との接合部に亀裂、隙間、緩み、シール切れ・剥離がある			
		床排水	壁面を伝って流れている、または排水の仕組みが無い	1	1	1
内壁	一般室	内壁、窓下	水浸み痕、はがれ、亀裂、カビがある	2	②	②
	浴室	タイル壁	目地の亀裂、タイルの割れがある	2	②	②
		タイル以外	水浸み痕、変色、亀裂、カビ、腐朽、蟻害がある			
床	床面	一般室	傾斜、過度の振動、床鳴りがある	2	②	②
		廊下	傾斜、過度の振動、床鳴りがある	1	①	1
	床下		基礎のひび割れや床下部材に腐朽、蟻道、蟻害がある	2	②	②
合 計				0	21	20

劣化度による低減係数 d K	1－(劣化点数/存在点数)＝	0.7000
----------------	----------------	--------

株式会社OSCAR J. J

様邸

診断書作成日時：

物件コード：0001

現状

0.13

本書は、一般財団法人 日本建築防災協会発行の「2012年改訂版 木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。
本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。